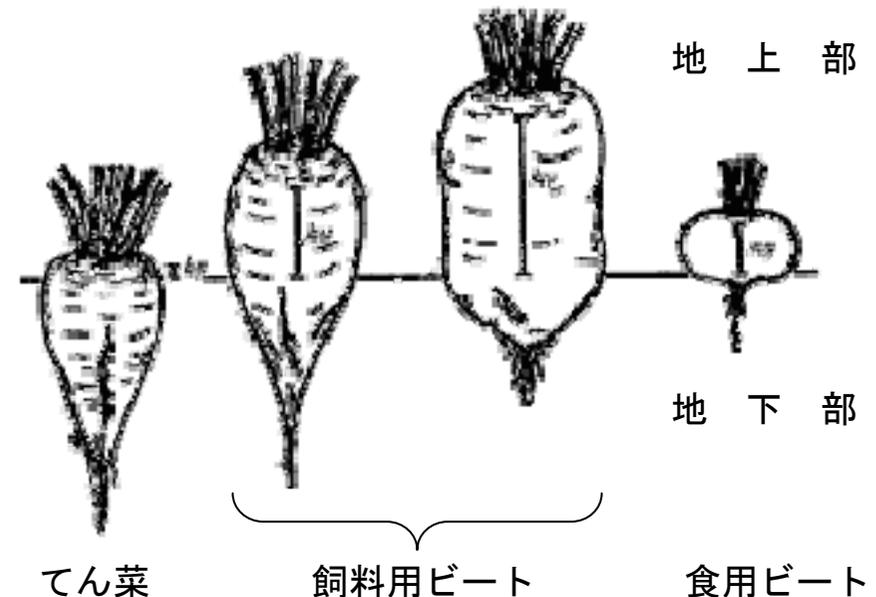


「てん菜」について

- てん菜は、ビート (*Beta vulgaris*) のうち製糖用品種群をいう。植物分類上、てん菜と、食用ビート（テーブルビート及びふだんそう）及び飼料用ビートは同一種であるが、変種レベルでは異なっている。

- 日本標準商品分類（平成2年、総務庁）によれば、てん菜（Sugar beets）、ビーツ（Table beets）及びふだんそう（Chards swisschard）とは分けて記載されている。

- てん菜と食用ビート及び飼料用ビートは、形態的にも区分されている。



（出典：独立行政法人農畜産業振興機構HP）

- 以上のことから、ビート (*Beta vulgaris*) の分類を以下の通りとして、今回、遺伝子組換え食品として表示の対象とするものは、製糖用品種群である「てん菜」及びこれをてんぷら等に調理した加工食品とする。

※ 砂糖については、てん菜のDNAの残存が確認されなかったため、表示対象としない。

分類	名称
製糖用	てん菜（シュガービート）
食用（根菜）	ビーツ（テーブルビート）
食用（葉・茎菜用）	ふだんそう
飼料用	飼料用ビート